



八中だより



令和7年3月12日 3月号
調布市立第八中学校
校長 馬場 誠

HP : <http://www.chofu-schools.jp/chofu8/>

春の訪れとともに卒業を

校長 馬場 誠

梅の枝に白い花が咲き誇り、春の訪れを感じるようになりました。古歌にも、

石走^{いわばし}る垂水^{たるみ}の上のさわらびの萌^もえ出^いづる春になり^いけるかも 志貴皇子（万葉集）

【意味】石の面をばげしく流れ落ちる滝のほとりにわらびが芽を出している。いよいよ春になったのだなあ。

という有名な歌があります。暖かな日差しの中に小さな植物の緑が目映ると、春の季節を感じずにはいられません。先日は、3年生が修学旅行に行ってきましたが、生徒たちが訪れた古都——奈良・京都も、寒風に吹かれてはいましたが、それでもなお春の到来を感じられるようでした。

卒業も目の前です。名残惜しい気持ちですが、それぞれの旅立ちを祝い、彼らにふさわしい心のもった暖かな卒業式にしたいと思います。

さて、本校では今年度もさまざまな成果を上げることができました。中でも、重点的な取組として力を入れてきたのが学級経営です。i-checkによりクラスの傾向や個別支援の状況を明らかにし、おかげで、どのクラスも「学級の絆」を強く感じて一年間を締めくくることができました。一方で、八中生の課題として「対人ストレス」を感じる割合が多いということもわかりました。次年度への課題として引き続き取り組んで参ります。

次年度はいよいよ本校でもコミュニティ・スクールが発足します。地域とともにある学校づくりをますます進めていきますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

おめでとう！ 令和6年度 調布市教育委員会表彰 N・Yさん（3年）

2月26日、グリーンホールで調布市教育委員会表彰があり、本校3年生のN・Yさんが、3年間深大寺東町子ども食堂でボランティアを続けてきた功績が認められ受賞されました。さらに、受賞したすべての児童・生徒を代表して、堂々と「代表の言葉」を述べ、教育長始め教育委員会の皆様からお褒めの言葉をいただきました。そのときのNさんの言葉を以下に掲載します。

「今回、このような賞をいただき、ありがとうございます。受賞に大変驚いております。私は勉強も苦手ですし、皆さんのような優秀な功績を収めた生徒ではありません。正真正銘、ごく普通の中学生です。私はただ小さな親切活動を続けてきました。それは、子ども食堂のボランティアです。私が小学生の頃は、食事を提供される側でありました。毎回ボランティアの方が温かい食事を用意してくださり、子どもたちの心に寄り添いたいという気持ちが伝わり、大変感動いたしました。独学でバルーンアートを覚え、子どもたちにプレゼントもしました。いつもみんな笑顔で喜んでくれます。私の小さな親切が大きな情熱となり、人を動かす力になると思っています。どんな小さなことでも、誰かのために自分ができることはきっとある、あなたなら大丈夫、私のように普通の中学生ができるのだからと伝えられる人に私はなりたいです。

最後にこの賞を受賞するにあたり、声をかけてくださった校長先生、クラス一人一人のために全力を注いでくれる担任の先生、勉強が苦手でも明るく接してくれる教科の先生、八中の根源を支えている地域コーディネーターの福田さん、八中すべての教職員の方々に感謝を申し上げます。八中で勉強だけではなく大切なことをたくさん学ぶことができました。私は八中に3年間通うことができ、本当によかった。これだけは私がこの場所で伝えたいことです。本日はありがとうございました。」